ぎべ まね まぼろし )

森に柱の火は燃えぬ影にあくがれ彷徨えば窓辺に招く 幻 の窓辺に招く 幻 の

まくれない。かが

去り行く青春を惜しむかなな、一般ではる。 たく 裸形の友は肩組みて はる かくく ない いまくれない 第5次 とし かまくれない 第5次 とし かまくれない 第5次 いまくれない

銀漢の下希望なる。
がかれ、もとのでみ
がお教理りぬ春の宵

支笏の湖に星は飛ぶ